

ヤマユリ着花状況調査実施報告

おゆみの道・緑とせせらぎの会

1.実施概要

- 1)実施日時 2024年7月13日(土) 9:30~10:45
- 2)天気 晴れ
- 3)実施場所 泉谷公園
- 4)参加者 13名
- 5)配付資料 別紙レジメ

2.着花状況調査の目的

- 1)泉谷公園に自生しているヤマユリのうち開花株の総数及びそれぞれ花(蕾)をつけている数を調査すること。
- 2)年次ごとあるいは生育地域ごとの調査結果を検討することにより、ヤマユリ保護の方向を見極める一助にする。

3.進行

- 1)主催者が調査の目的と調査方法そして諸注意を行った。
- 2)調査は3グループに分け行った。
第1班A, B, C 第2班H, G, E 第3班D, F

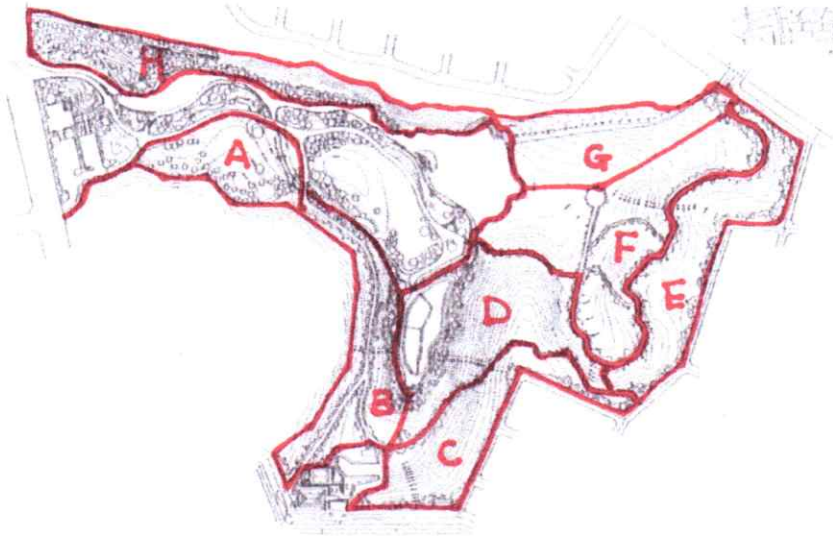
4.調査の方法

- 1)調査対象
調査区ごとに、花(つぼみ 終わったものも)が着いている個体
- 2)花(つぼみ)の数を記録する。
- 3)支柱は原則立てない。

5. 調査結果

泉谷公園ヤマユリ開花株調査(地区別)

地区	24.07.13		23.07.09		増減	
	個体数	花・蕾数	個体数	花・蕾数	個体数	花・蕾数
A	1	1	0	0	1	1
B	40	75	64	124	-24	-49
C	6	11	11	18	-5	-7
D	19	34	22	41	-3	-7
E	4	4	9	12	-5	-8
F	29	69	1	1	28	68
G	8	12	2	2	6	10
H	10	15	17	55	-7	-40
合計	117	221	126	253	-9	-32



年次別推移

調査年月日	種別	個体数	平均草丈 (cm)	備考
16.07.11	自生	34	132	
17.07.16	自生	38	146	
18.07.07	自生	37	141	
19.07.13	自生	65	137	
20.07.11	自/移	82	111	移植15(開花12)
21.07.10	自/移	157	126	移植16
22.07.09	自/移	144	131	移植31(開花19)
23.07.09	自/移	126	-	移植44(開花35)
24.07.13	自/移	117	-	移植20

7.まとめ

- 開花個体総数、開花数ともに前年の数値を下回った。20年以降、126球を山に帰していることを考慮すれば現象スピードはかなり速いと思われる。
- 地区別で前年対比減少著しいのはB地区であるが、かつてかなりの自生のヤマユリが観察できた外周部C、E、G、H地区の減少も著しい。考えられる理由としては地区ごとに違うかもしれないが、森の成長あるいはクワなどの稚樹による日照不足があるかもしれない。

ヤマユリ開花状況調査 (レジメ)

おゆみの道・緑とせせらぎの会

地域 泉谷公園 (千葉市緑区おゆみ野中央6)

調査年月日 2024年7月13日

1. 観察会の目的等

- 1) 泉谷公園に自生しているヤマユリのうち開花株の総数及びそれぞれ花 (蕾) をつけている数を調査すること。
- 2) 調査結果を検討することにより、ヤマユリ保護の方向を見極める一助にする。

2. 今までの調査結果

調査年月日	種別	個体数	花・蕾数	平均草丈 (cm)	備考
16.07.11	自生	34	60	132	
17.07.16	自生	38	111	146	
18.07.07	自生	37	93	141	
19.07.13	自生	65	132	137	
20.07.11	自/移	82	148	111	移植 15 (開花 12)
21.07.10	自/移	157	302	126	移植 16
22.07.09	自/移	144	278	131	移植 31 (開花 19)
23.07.09	自/移	126	253	-	移植 44 (開花 35)

◎山に帰した球根数

20.02.22 15個 (B地区) 開花個体 12、開花数 26
21.02.13 16個 (B地区)
22.02.12 31個 (B地区 15、D地区 16)
24.02.10 20個 (F地区 20)

3. 調査の方法

1) 調査対象

花 (つぼみ、終わったものも) が着いている個体数および花 (つぼみ) の数を記録する。

2) 支柱は原則立てない。

3) 他植物のツルが巻き付いている場合や周囲の草木に埋もれている場合はこれらを適度に除去する。

4. 区域図 (別紙)

5. 担当

第1班 A ⇒ B ⇒ C

第2班 H ⇒ G ⇒ (E)

第3班 D ⇒ F ⇒ (E)